

## 「がん対策に関する世論調査」の概要

平成 27 年 1 月  
内閣府政府広報室

調査対象	全国20歳以上の日本国籍を有する者 3,000人 有効回収数 1,799人 (回収率60.0%) 調査時期 平成26年11月6日～11月16日(調査員による個別面接聴取)
調査目的	がん対策に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
調査項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 がんに対する印象・認識について</li> <li>2 がんの予防・早期発見について</li> <li>3 がんの治療法及び病院等に関する情報源や認識について</li> <li>4 緩和ケアについて</li> <li>5 がん患者と社会とのつながりについて</li> <li>6 がん登録について</li> <li>7 がんの臨床試験について</li> <li>8 がん対策に関する政府への要望について</li> </ol>
調査実績	「がん対策に関する世論調査」 平成 25 年 1 月 (標本数 全国 20 歳以上 3,000 人 有効回収数 1,883 人) 平成 21 年 9 月 (標本数 全国 20 歳以上 3,000 人 有効回収数 1,935 人) 平成 19 年 9 月 (標本数 全国 20 歳以上 3,000 人 有効回収数 1,767 人)

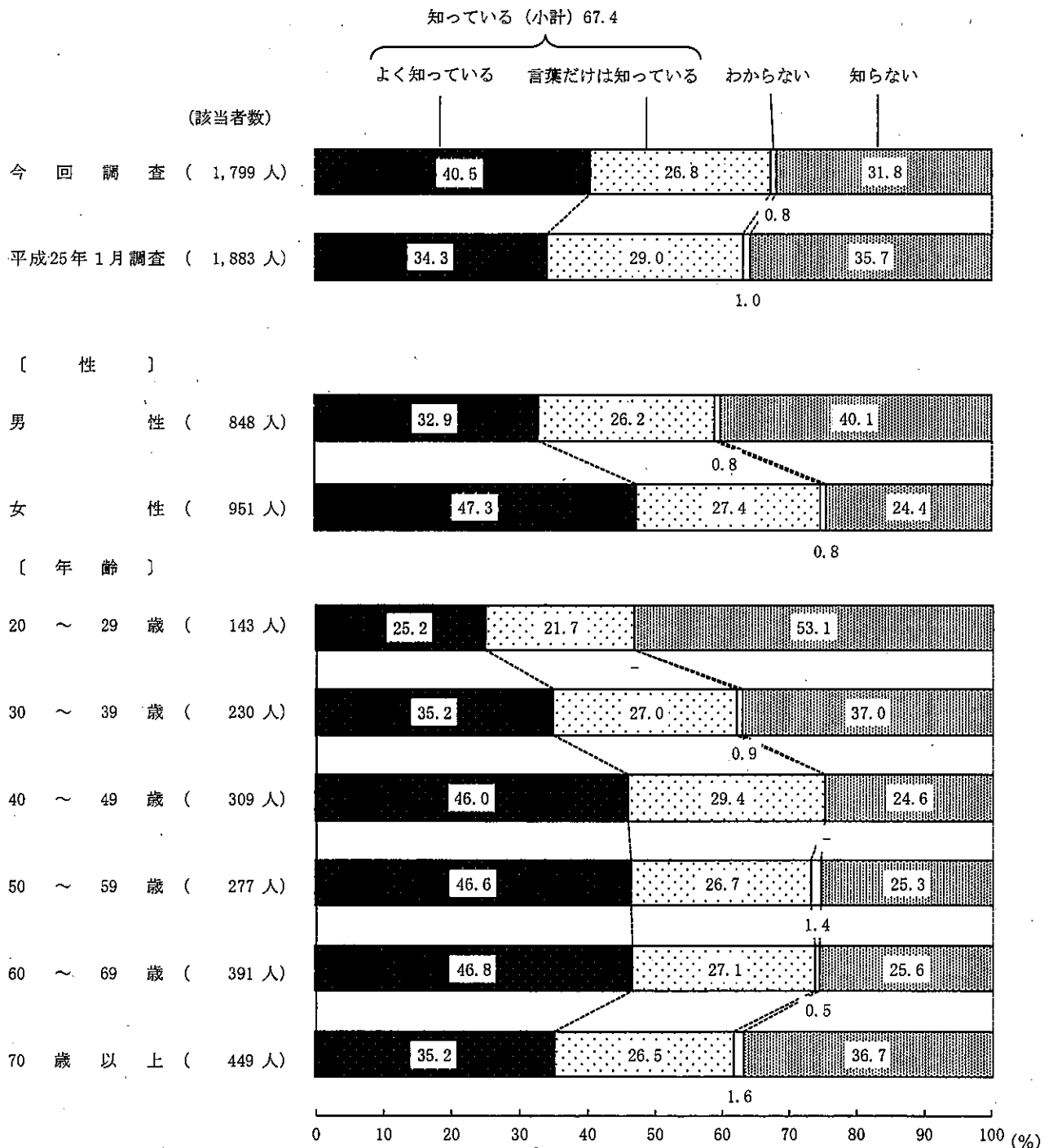


#### 4 緩和ケアについて

##### (1) 緩和ケアの認知度

問10 がん医療における緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みを和らげることですが、あなたは、がん医療における緩和ケアについて知っていましたか。この中から1つだけお答えください。

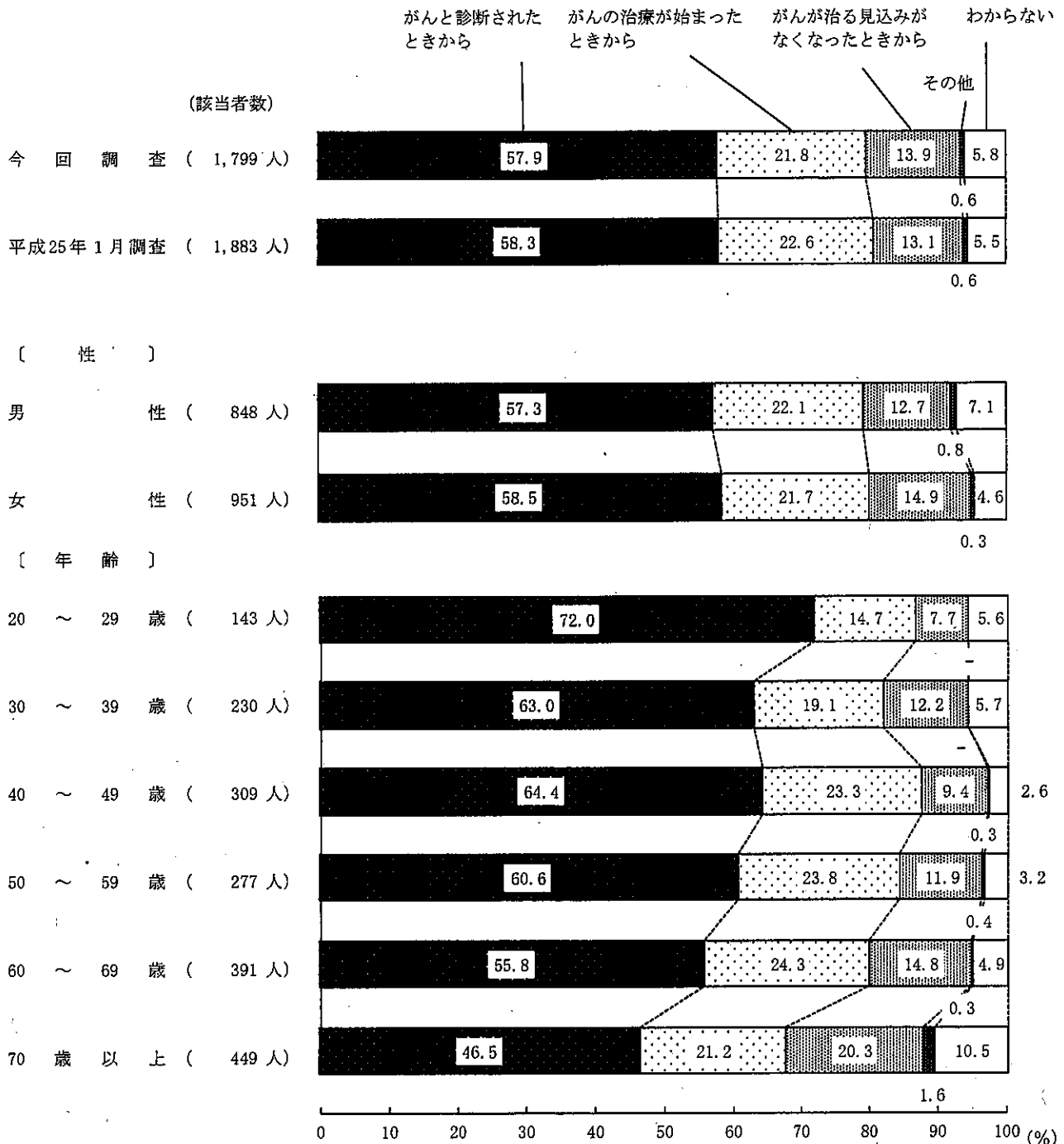
	平成 25 年 1 月	平成 26 年 11 月
・知っている (小計)	63.3%	→ 67.4% (増)
・よく知っている	34.3%	→ 40.5% (増)
・言葉だけは知っている	29.0%	→ 26.8%
・知らない	35.7%	→ 31.8% (減)



(2) 緩和ケアを開始すべき時期の認識

問11 あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。この中から1つだけお答えください。

	平成 25 年 1 月	→	平成 26 年 11 月
・がんと診断されたときから	58.3%		57.9%
・がんの治療が始まったときから	22.6%		21.8%
・がんが治る見込みがなくなったときから	13.1%		13.9%



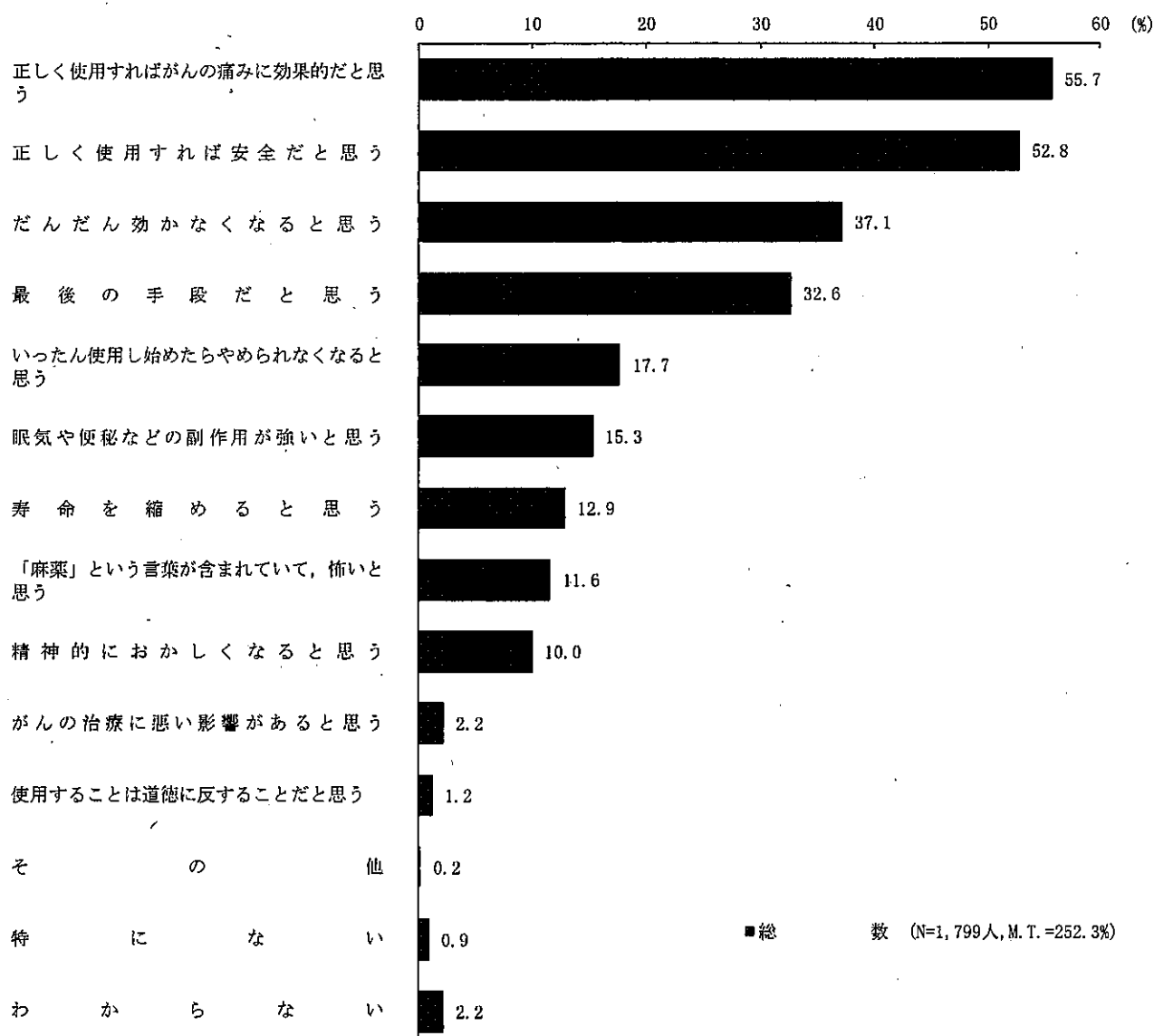
(3) 医療用麻薬に対する意識

問12 あなたは、医療用麻薬についてどのような印象を持っていますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)  
平成26年11月

- ・正しく使用すればがんの痛みに効果的だと思う 55.7%
- ・正しく使用すれば安全だと思う 52.8%
- ・だんだん効かなくなると思う 37.1%
- ・最後の手段だと思う 32.6%

(複数回答)



(4) 医療用麻薬の使用に対する意識

問13 もし、がんのために痛みが生じ、医師から医療用麻薬の使用を提案された場合、あなたは医療用麻薬を使用したいと思いますか。この中から1つだけお答えください。

平成 26 年 11 月

- ・使いたい (小計) 72.3%
- ・使いたい 41.3%
- ・どちらかといえば使いたい 31.0%
- ・使いたくない (小計) 24.6%
- ・どちらかといえば使いたくない 19.5%
- ・使いたくない 5.1%

